

## 令和元年度 自己評価結果

ひがしこども園

今年度4月から ひがし保育園から ひがしこども園に変わり、定員が増え、園舎・敷地ともに広がる。それに合わせて職員数も増え、大所帯となる。ひがしこども園の職員として、共通の意識がもてるよう、年度当初に「ひがしこども園勤務で大切なこと」を確認し合った。

3ヶ月を経過し、意識の再確認という意味でも、今回の自己評価はこれまでと一変して園独自のものを作成し、法人理念とサービスについて実施することにした。

- ① それぞれの項目についてチェックし（A～できている、B～ほぼできている、C～できていない）、B、C 評価の理由及び改善策を考えた。

各自の振り返りと合わせて、他の人の気づきを自分の中に取り込んでいき、各自の資質向上へとつなげていく。

- ② 各項目についての気づき（B,C 評価の理由及び改善策から）

### 『法人及びこども園の基本』

- ・おおまかな理解であり、もっと意識して仕事に取り組まなくてはと思う。
- ・知っていても聞かれたときにスラスラと言えないので、いつでも伝えられるように、月案の欄外に書き込む。
- ・地域に目を向けることができていないと改めて思う。

### 『勤務』

- ・ぎりぎりになって慌ててしまう。もっと時間に余裕をもって行動できるようにありたい。
- ・時間ギリギリの出勤、5～10分前行動ができるよう意識していく。
- ・朝7時までに連絡できないこともある（子どもの体調により）。

### <服装・身だしなみ>

- ・常に振り返り、きちんと行えるようにしていく。
- ・行事に合った服装という点において、今一度考えていきたい。
- ・キャラクターについてこれまで意識してこなかったもので、着任して当初戸惑った。購入時に気をつけたい。

### <早番で気をつけていること>

- ・段取り良くスムーズに準備をする。余裕をもって園に着くようにする。
- ・子どもにも保護者にも笑顔で受け入れる。安心して出勤できるように。
- ・明るく元気に「おはようございます」とこちらから挨拶を心掛ける。
- ・視診をし、健康状態や伝言を受けたことを担任に忘れずに伝える。
- ・子どもが怪我をしないように、万遍なく見ていく。

### <遅番で気をつけていること>

- ・怪我をしないように万遍なく周りを見ていく。
- ・おもちゃの出しすぎに、声をかけたり、片付ける。
- ・担任からの連絡を保護者に忘れないように伝えたり、保護者からの連絡を受け取り、伝え忘れのないようにする。
- ・体調の変化に気づけるよう、気をつけて見る。

- ・どの子ども関りがもてるように心掛け、年齢に合わせた言葉のかけ方をする。
- ・お迎えに来た保護者に、一言必ず声をかける。知らぬ間に帰ってしまったということのないように。
- ・鍵（施錠されているか）の確認をする。

#### 『挨拶』

- ・子どものモデルになれるよう心掛けたい。
- ・つい大きな声になってしまう。近づいて行って声をかけるよう心掛けたい。
- ・誰が土曜保育に出勤されたか確認し、言い忘れのないようにしたい。

#### 『書類』

- ・文章力に自信がない。そのためには、もっと本を読んでいきたい。
- ・見通しをもって、早め早めに準備していく。
- ・もう少し丁寧に書けるように心掛けたい。

#### 『出張報告』

- ・文面のみになっていることが多いので、速やかに口頭での報告もするよう心掛けたい。

#### 『職種別仕事』

##### <保育>

- ・毎年のことでも余裕がなくなって、いろいろなことが少しずつ後回しになってしまう。もっと見通しをもって取り組みたい。
- ・季節感のある環境づくりや保育準備など反省するところあり。  
余裕をもってできるよう早めの計画・早目の準備を心掛けたい。  
忙しいとつい整頓するのが疎かになってしまう。保育室を出る時は振り返り、できているか確認をしてから帰るように気をつけたい。
- ・花の水替えや生き物の世話～忘れがち。気を付けて行っていきたい。
- ・共有で使う場や用品等についてかち合うことがあり、打ち合わせをもっとする必要がある。

#### 『子どもとのコミュニケーション』

- ・自分の気持ちの余裕次第で、待たせてしまったり、否定的な言葉を使ってしまい、後からハッとさせられることがある。
- ・なるべく否定的な言葉は使わないようにと思っているが、「だめ!」「あぶない!」「やめてね!」などの言葉が出てしまう。  
「走らない」ではなく「歩こうね」と言い換えて伝えていく。
- ・子どもに笑顔で接するようにし、自分のことは「わたし」と言うように意識している。
- ・時々忘れてしまう。自分の振り返りをして、心掛け方を、気をつけていく。

#### 『保護者対応』

- ・どの保護者にも声掛けをするようにし、要件を伝えるだけでなく、その子の様子など一言伝え、保護者との距離を少しでも縮めていく。
- ・ポイントを押さえて伝えているつもりだが、伝わっているか心配になることがある。保護者が心地よく預けられているか、日々考えて取り組んでいる。

### 『研修及び資質の向上』

- ・目下うまく時間が作れてないが、与えられた機会をこなすだけではいけないと思う。
- ・学んできたことを実践したり、みんなに伝えることにより、自分のものに（確かな力に）していきたい。
- ・スキルアップできるよう、自ら様々な研修に目を向け学べるよう積極的に参加していきたい。

#### ③ 自己評価をしての感想・課題・解決策

- ・いろいろな項目を読んで（一つ一つの項目が具体的に示されていて確認しやすい）、改めて再確認ができた。
- ・細かな部分で心掛けが足りない点があり、自己評価表を時々確認し、意識をもてるようにしていく。
- ・時間に余裕をもって行動すること、なるべく否定的な言葉は使わないようにしていく。
- ・精一杯の毎日であるが、園の中がうまく機能するようミドルリーダー的存在としての役割も意識して取り組んでいく。
- ・気持ちをコントロールすることや研修での学びを実践に活かせるようにしていく。
- ・常に基本を大事にし、心の中心に置いて、仕事に臨む。
- ・基本理念や方針を時々振り返り、保育教育に臨む。
- ・保育研究・教材研究を行うことや、社会のことにもアンテナを高くしていく。
- ・しっとりとした保育ができるよう心掛けたい。
- ・周りとのコミュニケーションを積極的にとり、信頼関係を築いていく。
- ・保育・教育についての学びを深める。
- ・文章力が身につくよう努力する。
- ・保育の仕事は甘くはなく、学びを深め、自信がもてるよう頑張りたい。
- ・地元で保護者との知り合いが多く気軽に話ができるのは良いが、なれ合いにならぬよう気をつけていく。

#### ④ 園全体で取り組んでいきたいこと

- ・保育観のズレが生じないよう、職員会議以外のグループごとの話し合いの時間も作っていきたい。
- ・子ども主体の保育をつくっていくには、大人の声をまず小さくすることから徹底したい。
- ・子ども園になり保護者の層も多様になった。改めて保護者支援について、みんなで考えたい。
- ・保育について具体的なこと～描画についての学びを深めたい。
- ・園の理念方針目標に対して、具体的に各自のすべきことを考えたい。